

# 附高新聞

4月23日、本校体育館にて前期生徒会執行部による所信表明演説が行われた。今年には立候補者全員が信任投票による選挙であったが、全員無事に信任を得て、今期の活動目標や意気込みを述べた。(音頭・楠)

まず、平成24年度前期予算案が生徒会会計西村くん(2A)より申請され、承認された後、前期生徒会役員および各委員長による所信表明演説が行われた。

執行委員長に信任された荒井龍一くん(2A)は、「目安箱の設置の引き継ぎを急務とし、その後生徒会の運営が軌道に乗り次第、新しいことを実行する」と意気込んだ。

また、執行副委員長の小川風吹さん(2B)は「目安箱の設置やアンケートの実施から、親しみやすく活発な生徒会にしたい」、同じく執行副



新執行委員長として演説する荒井くん

委員長の鳥越美来さん(2B)は「前期行事を精一杯務めるだけでなく、ボランティアの紹介や学校全体で取り組める活動を実行したい」と述べた。書記の原美悠さん(2C)は

平成24年 4月27日

《発行所》 校高  
《金大附属編集局》

《発行人》 子  
《音頭》 今

「会長や各委員会のサポートや、自らの積極的な行動から、生徒会がより活発なものになるよう頑張りたい」と話した。

また会計の西村康平くん(2A)は「数字などを何度も見直して確認し、執行部の一員としての仕事もしっかりこなしていきたい」とそれぞれの意気込みを話し、執行委員長を中心としてよりよい生徒会を目指していくことを表明した。

放送局長の西尾美奈さん(2B)は「自分の立場に責任を持ち、後輩のよいお手本になれるように頑張りたい」と力強く語った。

そのほか各委員長も自らの抱負を述べた。

## 前期執行部

# 意気込みを語ろう!



壇上に並ぶ前期生徒会執行部と各委員長

わって、今年の立会演説会では質問の数は1つに留まっ

た。その質問とは、新執行委員長の曖昧な表現に対するものであり、その後いくらか説明を加えたところ納得するに至ったわけだが、ここで特筆すべき点は、この質問が1年生の生徒から出たということである。また、今年度予算案についても鋭い質問が投げ掛けられたが、まだ入学して一カ月も経過していないにも関わらず、生徒会の活動にしっかりと耳を傾け、全校生徒の前で積極的に意見を述べるとは大変素晴らしいことである。執行部の活発な運営に欠かせないのは生徒の意見である。今後も、目安箱等を通して、より多くの生徒の意見が執行部に集まることを願う。

# おいでよ!! 新聞編集局

所信表明演説でも言ったように、現在、新聞編集局では局員を募集している。……ってまた勧誘か、なんて思われないうちに、新編のお仕事について皆さんが気になっているのであるうことを紹介していきたいと思う。(音頭)

新聞編集局の主な仕事内容は、その名の通り附高の学校新聞を発行することである。

活動時期は、大きな行事の後という場合が多く、活版の発行が近くなると少し仕事が増



える。まず局員たちで集まってそれぞれの分担を決め、記事を書くといった流れだ。

放課後は部活動をしたいかよつと……と心配している人も大丈夫。自宅で文章を書いて、次の日、USBメモリーなる便利なものに入れて持ってきてくれれば良いので何の心配もいらない。

また、新聞編集局に入れば、友達と相談しながら記事を作成することもできるので、楽しみながら、文章を書く能力が養われる。さらに、パソコンを使って新聞を作成するので、パソコンの機能をうまく使えるようになるだけでなく、思わずどこかに投稿したくなるような、予期せぬ変換ミスに出会うことだってある。

これで、新聞編集局について分かっていただけただろうか。この記事を読んで、ぜひ参加したいと思った人は、2A音頭もしくは奥村先生に気軽に申し出てください。随時お待ちしております!!